

令和2年2月20日

オリンピック聖火到着まで1か月



東松島市役所より写真提供：（右上）カウントダウンボード、（右下）デンマーク学生交流、（左下）ひがしまつしま食べメッセせかいむすびワークショップ

ギリシャ・アテネで採火された聖火は、3月20日宮城県東松島市の航空自衛隊「松島基地」に到着します。今日はちょうど1か月前。

東松島市役所のカウントダウンボードは、この聖火到着日のカウントダウンをしています。

この日に合わせて、東松島市は「スポーツ健康都市宣言」を行う予定になっています。この歴史的な日を記念日とし、市民の皆さんが生涯にわたりスポーツを楽しむことで、交流の輪を広げるとともに、レガシーとして後世に残します。

さらに、松島基地所属のブルーインパルスは、空に五輪の輪を描く訓練をしています。さらに、基地近くの矢本海浜緑地では人文字で五輪を描く計画も進んでいます。空と地上の「Wの五輪」で聖火を迎えようと、準備されているところです。

また、震災後、東松島市はデンマークから多くの支援を受けました。その支援に感謝し、東京2020大会では、デンマークの復興『ありがとう』ホストタウンとなっています。

中学生の相互交流をはじめ、産業文化の交流、大使館の表敬なども行われています。おむすびで文化交流を深める「せかいむすび」プロジェクトでは、東松島特産の海苔とお米と、デンマークの特産品（チーズ）でおむすびを作ったそうです。